

盛岡ふるさとガイドの会

## 特集

### 令和3年岩手県観光ボランティア 連絡協議会統一的研修会



盛岡ふるさとガイド  
MORIOKA TOWN GUIDE



「令和3年度県連・統一的研修会

イン盛岡」を終えて

岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会

会長 大矢 正典

11月17日(水)、前年と同様日帰りで行い、事務局を含め9団体36名の参加でした。

個人の旅程では行きにくい、常光寺・宝徳寺及び啄木学級を織り込みました。

啄木の父一禎は、常光寺で11年、宝徳寺でおよそ18年住職として仕え信頼の篤い和尚さんだったと思います。長男であればお寺を継がせるのが普通と考えますが、啄木の才能を何時見出したのか？啄木もそれに応えて才能を発揮出来たのは庶民の環境があったからなのか？節子さんと出会ったから

か？不思議でなりません。

啄木学級ではジツとしていたため、ストーブがあったらなあと思いました。啄木第一号歌碑の文字を「朝日新聞の活字」にしたのは土岐善麿の提案だったことが分かりました。

又、一号歌碑の兄弟石が宝徳寺境内にあることが分かりました。

遊座芳匡住職談

①啄木五十回忌歌碑 ②三界萬霊の石碑です。

久太屋の昼食を美味しくいただきました。

午後からの「観光ガイドとリスクマネジメント」講演では、ガイド活動に役立つ多くのことを学びました。

今年度も会員の皆さまとコンベンション事務局の皆さまのお蔭で無事終了出来ました。ありがとうございました。





### 秋晴れの県連絡協議会統一的研修会

秋晴れに恵まれた11月17日、岩手県観光ボランティア連絡協議会の研修会が開催されました。研修会は前半に「啄木を訪ねて」と題した渋民方面のバス旅行、後半はプラザおでつてに移動して「観光ボランティアのリスクマネジメント」と題した講演会でした。

前半の参加者は、水沢観光サポーターの会1名・花巻おもてなし観光ガイドの会6名・遠野ふるさと観光ガイドの会1名・釜石観光ガイドの会1名・いわいの里ガイドの会6名・盛岡善意ガイドの会1名・九戸城ボランティアガイドの会1名・盛岡ふるさとガイドの会17名・盛岡観光コンベンション協会事務局2名、合わせて36名でした。

一行は盛岡駅西口を9時に出発、啄木誕生の部屋が残る常光寺・幼少期を過ごした宝徳寺を見学して石川啄木記念館へ。館内見学と旧尋常小学校の教室で森館長の「啄木入門講座」を受けました。その後第一号啄木歌碑の建つ渋民公園に移動し、三合目付近まで白銀に輝く岩手山と、すそ野を広げ啄木の故郷を包み込むような晩秋の姫神山の景色を満喫して昼食会場へ。昼食は戸田久姫神工場に隣接するレストラン久太屋で、ボリュームたっぷりのひつまみ御前。市価の半額以下という麺セットなどのお土産を買って帰路に着きました。

午後は1時間ほどの講演を聞き質疑応答の後、定刻の3時半に解散となりました。  
(広報部 戸澤 武美)

### ボランティアガイド講演会に参加して

菅野 清子

渋民での全体研修の後、函館市の自然倶楽部代表鎌鹿隆美氏の講演を受講。テーマは「観光ガイドとリスクマネジメント」。山岳ガイドの経験を織り込みながらのお話で、シート『まちあるきドリル』を使ってリスクの事前チェックと情報収集の大切さを確認。普段何となくやっているつもりだが、「おもてなしの土台はリスクマネジメントと笑顔」とのお話に自己のガイドを反省。救急救命の技術も時々復習が必要かも知れません。

最後に、「何度も訪れたい街の条件は、その土地の人達の心の豊かさ」とのお話にて、深くうなずきました。

**編集後記** 秋の日差しも良く有意義な一日でした。コロナ禍でなかなか旅行ができない状況です。力を発揮できる日が早く来てほしいと願うばかりです(吉田)